



# 夢もつ子 No.127

令和3年6月25日

長崎市立西浦上小学校  
副校長 大石 信弥

## 教育週間

今週は、西浦上小学校の心を見つめる教育週間です。授業参観、懇談会へ多数ご参加いただきありがとうございました。また、係の皆様、受付を行っていただきありがとうございました。保護者の皆様のご参観で、子どもたちもとても張り切っている様子が見られました。

さて、明後日は、運動会です。今週は、天気にも恵まれ、しっかり練習ができました。あとは本番の天気を本当に願うばかりです。態度決定は6月27日（日）AM6：00に行い、安心安全メールにてお知らせいたします。

6月21日の教育週間初日、心を見つめる集会（オンライン）を行いました。以下が校長講話の内容です。

## 校長講話

西浦上小学校のみなさん、おはようございます。

今日から、「西浦上っ子の心を見つめる」教育週間が始まりました。

この教育週間は、みなさんの周りにいる大人が、みなさんの心がどれくらい育っているか、しっかり見つめようという週間です。

さて、心を見つめるといっても、皆さんの心ってどこにあるのでしょうか。また、心の中は目で見えるものなのでしょうか。もちろん心は目で直接見ることはできませんし、体のどこにあるかは私もわかりません。でも、皆さんの心は、表情や言葉使い、そして行動となって表れてきます。ですから、目で見えなくてもお互いを感じることはできるのです。

この教育週間を通して、しっかりと授業に集中し進んで発表する、家庭学習を毎日続けるといった「進んで学ぶ心」、明るく元気の良いあいさつをする、思いやりのある言葉使いや礼儀正しい言葉使いをするといった「素直で明るい心」、早寝早起きをして規則正しい生活を送る、運動会にむけ練習にしっかり取り組む、我慢強く行動するといった「たくましい心」を、皆さん一人一人がしっかりと伸ばしてほしいと期待しています。もう一度言います。心は言葉遣いや行動に表れます。私たち大人は、皆さんの言葉や行動をしっかりと見つめたいと思います。

教育週間で考えなければならないことがもう一つあります。それは、「命の大切さ」について考えることです。

命を失うと、二度と生き返ることはできません。ゲームの世界では生き返ることができても、現実の世



界では、失った命は、絶対に元に戻ることはないのです。また、私たちの周りには、生き続けたいと強く願っていても、病気や突然の事故によって不幸にして命をなくす人がたくさんいます。

だからこそ、自分の命を大切に、精一杯生きなければならぬのです。また、同じように他の人の命も大事にしなければなりません。

皆さんには、大切に思う人、家族や友達がいることと思います。同じように、皆さんのことを心から大切に思っている人が必ずいます。生きている時間が長くなれば長くなるほどそれらの人の数は増えていきます。

お互いの命や気持ちを心から大切にして、楽しく充実した生活を送るようにしていきましょう。今日からの教育週間は、多くの方が学校においてになります。また、教育週間の最後にはまとめとなる運動会があります。一人一人が輝く教育週間にしていきましょう。

今年は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、100人パトロールも実施できませんが、この教育週間が「命」を考えるよい機会となりました。

### 水難事故の防止について

夏が近づき、涼を求めたくなる季節になりました。

さて、今年に入り長崎市内でも、「児童が海で遊んでいるときにおぼれ、通りかかった人に心臓マッサージを施されたのち、ドクターヘリで救急搬送される」という事案が発生しました。

本校は、校区に「浦上川」「浦上水源地」を抱え、水場の近い環境にあります。子どもだけで川遊びをしたり、海へ出かけたりすることは、安全上禁止しております。水の恐ろしさを十分認知できるよう、ご家庭でも確認をお願いいたします。

### 熱中症計

暑さから子どもたちを守るために、「熱中症計」で「暑さ指数」の測定を行っています。運動場の風通しがいい「ひなた」の部分に設置し、安心安全に休み時間を過ごせるよう「暑さ指数」を見て、外での活動の実施の有無を判断しています。今年は、まだ「危険」を示すことはありません。

今後、暑さが強まり、「危険」を示す場合は、運動場での活動を中止し、熱中症対策に万全を期したいと思います。



